

令和8年度 教科年間計画

教科	保健体育	1年	使用	【教科書】 現代高等保健体育
科目	体育	3単位	教材	【副教材】 現代高等保健体育ノート

科目の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けることができた。	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全についておおむね理解するとともに、技能を身に付けることができた。	左記の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができた。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力をおおむね養うことができた。	左記の求められる基準に達していない。
③主体的に 学習に取り組む 態度	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができた。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度をおおむね養うことができた。	左記の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
体づくり運動 体力を高める運動 体育理論①	集団行動	3				○集団行動や準備運動(ランニング・体操・ストレッチング)の意義を理解し意欲的に取り組んでいるか。(主) ○新体力テストを実施し、自分の体力的課題を認識し、解決に向けた具体的な方法を身につけられたか。(思) ○スポーツの歴史的発展と変容 ○スポーツの歴史について理解出来ているか。(知)	
	新体力テスト	4					
	スポーツの歴史	1	○	○	○		
器械運動	マット運動 跳び箱運動	10	○		○	○技(前転、開脚前転、伸膝前転、後転、開脚後転、伸膝後転、倒立など)をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。(知) ○自分の動きを分析し、自身で課題解決に向けていく能力を高めることができたか。(主)	単元テスト
ダンス	リズムダンス	12	○	○		○表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や班で、対極の動きや空間の使い方に変化をつけて即興的に表現しながら踊ることができているか。(知) ○グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫することができているか。(思)	単元テスト

陸上競技	短距離走 ハードル走	9	○		○	○必要な個人技術を高めることができたか。(知) ○自身の体力や技術的課題に応じた目標を設定し、実行・評価を繰り返す中で解決しようとする能力を高められたか。(主)	単元テスト
球技①	球技(バレーボール)	6	○	○		・個人技術(サーブ、パスとレシーブ、トス、スパイク、ブロック等)をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。(思・主)	単元テスト
球技②	ソフトボール	11	○	○		・個人技術(キャッチボール、バッティング等)の能力をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。(知) ・ソフトボールのルールを理解した上で、身につけた技能を活用し、状況に応じたゲームができるように工夫することができたか。(思)	単元テスト
体育理論②	競技のルール	1	○			・競技ルールの変化、スポーツの技術・戦術について理解できたか。(知)	
武道	柔道	12	○	○		・基本動作(姿勢と組み方、進退動作、崩しと体さばき、受け身など)や投げ技(膝車、体落とし、大腰、内股、大外刈りなど)固め技(袈裟固め、横四方固め、上四方固めなど)を身につけ、それらの技能を高めることができたか。(知) ・身につけた技能を活用し、自分の特性を踏まえた上で、相手の安全を第一に考えながら約束練習ができるようになったか。(主)	単元テスト
体育理論③	オリンピックについて	1	○			・オリンピックムーブメントとドーピング オリンピックムーブメントによる国際親善や世界平和への役割を理解することや、ドーピングによるスポーツの文化的価値の喪失について理解することができたか。(知)	
球技③	バスケットボール	11	○		○	・個人技術(パス、ドリブル、シュート、フェイント、リバウンド等)をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。また集団技術(速攻、マンツーマンディフェンス)をしっかりと理解し、それらの技能を高めることができたか。(知) ・身につけた技能を活用し、自己の課題の解決に向けて工夫したり、チーム内における自分の役割を果たせるように努めながらゲームに取り組む姿勢を持つことができたか。(主)	単元テスト
軽スポーツ	バドミントン 卓球	12	○		○	・個人技術(ハイクリア、ドロップ・スマッシュ・ヘアピン等)等の技術をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。(知) ・身につけた技能を活用し、自己の課題の解決に向けて工夫したり、ペアにおける自分の役割を果たせるように努めながらゲームに取り組む姿勢を持つことができたか。(主)	単元テスト
体育理論④	スポーツの経済的効果	1	○			・スポーツの経済的効果とスポーツ産業 現代のスポーツにおける経済的な波及効果やスポーツ産業について理解を深めることができたか。(思)	
	学年末考査	1					
球技④	バレーボールリーグ戦	9		○	○	○身につけた技能を活用し、チーム内における自己の役割を果たせるよう努めながらゲームができるようになったか。(思・主)	
	時数合計	105					

令和8年度 教科年間計画

教科	保健体育	1年	使用	【教科書】 現代高等保健体育
科目	保健	1単位	教材	【副教材】 現代高等保健体育ノート

科目の目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるか。	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、おおむね技能を身に付ける。	左記の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養っているか。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養っている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力をおおむね養っている。	左記の求められる基準に達していない。
③主体的に 学習に取り組む 態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っているか。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度をおおむね養っている。	左記の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知:知識・技能 思:思考力・判断力・表現力 主:主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
現代社会 と健康	1 健康の考え方と成り立ち	1		○		現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることが理解できる。 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。	ノート観察 ノート提出 単元テスト
	2 私たちの健康のすがた	1		○			
	3 生活習慣病の予防と回復	1			○		
	4 がんの原因と予防	1			○		
	5 がんの治療と回復	2			○		
	6 運動と健康	1		○			
	7 食事と健康	2		○			
	単元テスト	1	○				

	8 休養・睡眠と健康	2		○	<p>予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要であることが理解できる。</p> <p>健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることが理解できる。</p> <p>喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。</p>	<p>ノート観察</p> <p>ノート提出</p> <p>前期末考査</p>
	9 喫煙と健康	1		○		
	10 飲酒と健康	2		○		
	11 薬物乱用と健康	1		○		
	12 精神疾患の特徴	1		○		
	13 精神疾患の予防	2		○		
	前期末考査	1	○			
	14 精神疾患からの回復	1		○	<p>精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることが理解できる。</p> <p>安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することができる。</p>	<p>ノート観察</p> <p>ノート提出</p> <p>単元テスト</p>
	15 現代の感染症	2		○		
	16 感染症の予防	1		○		
	17 性感染症・エイズとその予防	1		○		
	18 健康に関する意思決定・行動選択	1		○		
	19 健康に関する環境づくり	1		○		
	単元テスト	1	○			
安全な社会生活	1 事故の現状と発生要因	1		○	<p>環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動や自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じることが理解できる。</p> <p>適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、応急手当は傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があることが理解できる。心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うことができる。</p>	<p>ノート観察</p> <p>ノート提出</p> <p>学年末考査</p>
	2 安全な社会の形成	1		○		
	3 交通における安全	1		○		
	4 応急手当の意義とその基本	1		○		
	5 日常的な応急手当	1		○		
	6 心肺蘇生法	1		○		
		学年末考査	1			
	時数合計	35				

令和8年度 教科年間計画

教科	外国語	1年	使用 教材	【教科書】All Aboard! English Communication (東京書籍)
科目	英語コミュニケーションⅠ	3単位		【副教材】 ・All Aboard! English Communication I WORKBOOK (東京書籍) ・夢をかなえる英単語 新ユメタン1 大学合格必須レベル (アルク)

科目の目標

1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
2. 必要な情報を読み取り、聞き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらについての知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用することができるか。	話し手や書き手の意図、情報などを正しく理解し、語彙・表現・文法を適切に使用している。	話し手や書き手の意図、情報などを概ね理解し、多少の誤りはあるが理解に支障の無い程度の語彙・表現・文法を使用している。	「B」を満たしていない。
②思考力 判断力 表現力	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができるか。	題材について関連する情報なども含めて考察し、自分の意見や気持ちなどを効果的に表現している。	題材について考察し、自分の意見や気持ちなどを表現している。	「B」を満たしていない。

③主体的に学習に取り組む態度	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。	話し手や書き手の意図、情報などを積極的に理解しようとしている。 題材について関連する情報なども含めて考察し、自分の意見や気持ちなどを積極的に伝えようとしている。	話し手や書き手の意図、情報などを理解しようとしている。 題材について考察し、自分の意見や気持ちなどを伝えようとしている。	「B」を満たしていない。
----------------	---	---	---	--------------

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
○オリエンテーション	・英語コミュニケーションIの学習について	1			○	・アンケートへの回答を通し、これまでの英語の学習を振り返り、英語コミュニケーションIの学習についての見通しをもつ。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価(振り返りのシートなどの記述内容) ④単元テスト(学習内容の定着状況を確認する)
○オレの名前は伊藤ネコだ ●My Name Is Ito Neko	・[be動詞] am / is / are	4	○	○	○	・自分の名前、性格、特徴などを整理して、相手が理解しやすいように伝えられる。	
○オレはジャンクフードが好きだ! ●I Like Junk Food!	・[一般動詞]	5	○	○	○	・自分の日常の行動や食べ物の好みなどを整理して、相手が理解しやすいように伝えられる。	
○自己紹介 ●Communication 1	[発表/聞く] ・自分のことについて話す活動	3	○	○	○	・一連の簡単な語句や文を使って自己紹介ができる	
○私の朝ごはん ●Lesson 1	[やり取り/聞く] ・過去形	5	○	○	○	・好きな食べ物について聞いて、内容を理解することができる。	
○人なつっこい野生動物 ●Lesson 2	[やり取り/読む] ・進行形:(be動詞+動詞の-ing形)	6	○	○	○	・基本的な語や言い回しを使って、好きな動物について、簡単に意見交換をすることができる。	
○笑顔を運ぶ列車 ●Lesson 3	[書く/読む] ・助動詞: can, will	6	○	○	○	・接続詞 and を用いて、場所への行き方とそこでできることについて書くことができる。	
○道案内 ●Communication 2	[やり取り/聞く] ・地図を用いた道案内	1	○	○		・基本的な語や言い回しを使って道案内ができる。	
○デートの約束 ●Let's Listen 1	[聞く] ・必要な情報を聞き、それを整理する活動	1	○	○		・友達をサッカーの試合観戦に誘う場面における対話を聞き、概要を理解し、メモを完成することができる。	

○夢のような絶景 ●Lesson 4	[発表/読む] ・to不定詞:(to+動詞の原形)	7	○	○	○	・行ってみたい場所について、簡単な語や基礎的な句を用いて発表することができる。
○英文Eメールの書き方	[書く]	2	○	○		・Eメールの基本的な書き方を覚え、書けるようになる。
○人物当てクイズ ●Extra Target 1	[やり取り/聞く] ・接続詞	2	○	○		・「接続詞」を活用して、人物のプロフィールを的確に伝えることができる。
○長浜高校水族館部 ●Lesson 5	[書く/聞く] ・動名詞:(動詞の-ing形)	7	○	○	○	・将来の夢について、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。
前期期末考査		1	○	○		
○Hokkaido Study Abroad Program	[やり取り/聞く] ・必要な情報を聞き、それを整理する活動	1			○	・留学生が語る母国や家族などについての説明を聞き、概要を理解することができる。
○フリーマーケットで買い物 ●Let's Listen 2	[聞く] ・必要な情報を聞き、それを整理する活動	1	○	○		・フリーマーケットでの買い物についての話を聞き、概要を理解することができる。
○～が…するのを見た ●Extra Target 2	[やり取り/聞く] ・知覚動詞	1	○	○		・「知覚動詞」を活用して、最近見たり聞いたりしたことについて表現する。
○奇想天外な浮世絵師 ●Lesson 6	[書く・読む] ・受け身:(be動詞+過去分詞)	7	○	○	○	・関心のある絵について、内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。
○アンネ・フランク ●Lesson 7	[発表・聞く] ・比較表現:(-er) (the -est) (as+原級+as)	8	○	○	○	・前もって関心のある人物について発話することを用意した上で、複数の文で発表をすることができる。
○ロボットカフェ ●Lesson 8	[発表・聞く] ・現在完了形: (have[has]+過去分詞)	8	○	○	○	・人の生活を豊かにするロボットについて聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要を捉えることができる。
○乗り換え案内 ●Communication 3	[やり取り/聞く] ・路線図を用いた乗り換え案内	1	○	○		・電車の乗り換え案内の場面においてよく使われる表現を用いて、英語で尋ねたり案内することができる。
○海の豊かさを守る ●Lesson 9	[やり取り/読む] ・名詞を後ろから説明する分詞	8	○	○	○	・環境を守るためにできることについて、基本的な語や言い回しを

- ①ペーパーテスト等の結果
②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果
③自己評価(振り返りのシートなどの記述内容)
④単元テスト(学習内容の定着状況を確認する)

						使って簡単に意見交換をすることができる。	
○海の向こうからの贈り物 ●Lesson 10	[やり取り/聞く] ・関係代名詞: who, which.	8	○	○	○	・海外の文化や社会に対する理解を深める活動について聞いて、内容を理解することができる。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価(振り返りのシートなどの記述内容) ④単元テスト(学習内容の定着状況を確認する)
学年末考査		1	○	○			
○The Wizard of Oz ●Reading 2	[読む] ・The Wizard of Oz を読む活動。	5	○	○	○	・主人公のドロシーを中心に、登場人物の気持ちを考えながら読むことができる。	
○短文&長文問題	[読む/書く]	5	○	○	○	・さまざまな短文問題や長文問題を解き、読解力や書く力をつける。	
合計		105					

令和8年度 教科年間計画

教科	芸術	1年	使用 教材	【教科書】 Tutti+ 音楽I
科目	音楽I	2単位		【副教材】 高校生のための音楽研究ノート

科目の目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【評価の観点】

	評価の観点 (重点項目には○)	観点別学習状況の評価基準
①知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けているか。	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。
②思考力、判断力、表現力	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができているか。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながら美しさを自ら味わって聴いたりしている。
③主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができているか。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

時数	単元名	内容の観点			学習内容	単元のねらいおよび評価規準	評価方法
		知	思	主			
1	オリエンテーション				・自分自身の音楽の興味・関心や体験について、中学校までの学習内容を含めて振り返る	高校生として音楽を学ぶにあたって、音楽を幅広くさまざまな視点から捉えることについて考える。	
6	SEED OF MUSIC 蒔こう！育てよう！音楽の「タネ」	○	○	○	・1年間の学びをダイジェストで体験し、学びの見通しをもつ	音楽を構成する要素について知覚し、リズムを使って音楽で表現したり、社会の中の音楽についてさまざまな立場の視点で考えたりする。	・ワークシートの記述 ・発表の内容 ・提出作品の内容 ・振り返りの内容
4	Popular Music Festival	○	○	○	・J-POP の歌唱活動および楽曲分析 ・歌詞の内容や歌唱表現の探究	J-POP を斉唱や二部合唱で楽しみながら、高校の音楽の学習への意欲を養う。	・ワークシートの記述 ・練習への取り組み内容 ・発表の内容 ・振り返りの内容
6	めざせ！リコーダーマスター！	○	○	○	・リコーダーの基礎的な奏法を生かしたソロまたはアンサンブルによる演奏 ・曲想にあった音楽表現の工夫	リコーダーの基礎的な奏法を学習し、音色や奏法の特徴を生かしながら、曲想にあった音楽表現を工夫して演奏する。	・ワークシートの記述 ・練習への取り組み内容 ・発表の内容 ・振り返りの内容
6	Movie Music Master ～映画を彩る音楽～	○	○	○	・映画音楽の鑑賞 ・映画の場面や登場人物の心情と、音楽の結びつきを考える	音楽と映像との結びつきを考えながら映画音楽を鑑賞し、音楽によって映画の場面や登場人物の心情がどう表現されているかについて考え、その魅力についてまとめる。	・ワークシートの記述 ・発表の内容 ・提出作品の内容 ・振り返りの内容
10	混声合唱にチャレンジ！	○	○	○	・学校祭、卒業式に向けた式歌の取り組み ・少人数による混声合唱	各パートの役割を意識し、歌詞に込められたメッセージについて考えたことをもとに表現を工夫して合唱の喜びを味わう。	・ワークシートの記述 ・練習への取り組み内容 ・発表の内容 ・振り返りの内容
8	はじめてのクラシックギター入門編	○	○	○	・クラシックギターの基礎的な奏法を生かしたソロまたはアンサンブルによる演奏 ・曲想にあった音楽表現の工夫	クラシックギターの基礎的な奏法を学習し、音色や奏法の特徴を生かしながら、曲想にあった音楽表現を工夫して演奏する。	・ワークシートの記述 ・練習への取り組み内容 ・発表の内容 ・振り返りの内容
6	歌よ、愛を語れ！	○	○	○	・日本・ドイツ・イタリア・フランス歌曲の歌唱 ・歌詞の内容や音楽表現の探究	日本語、イタリア語、ドイツ語、フランス語の言葉の特性に関心を持ち、アクセントや子音・母音の扱い、語感の違いなどを生かして表情豊かに歌う。	・ワークシートの記述 ・練習への取り組み内容 ・発表の内容 ・振り返りの内容

6	LIFE×MUSIC 生活や社会をデザインする音楽	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・BGM、サウンドロゴ、着信音など身の回りの音楽の鑑賞 ・生活に根ざした音楽の創作 	音色やリズムの観点で様々なBGM、サウンドロゴや着信音を鑑賞し、音楽の特徴を捉えた上で個性豊かに協働しながら、表現を創意工夫して「生活に根ざした音楽」を創作する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述 ・発表の内容 ・提出作品の内容 ・振り返りの内容
6	古今東西「舞台芸術」の世界	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の舞台芸術を、声と楽器の表現の観点から比較鑑賞 ・音楽の多様性・共通性・独自性についてとらえる 	舞台芸術（オペラ、ミュージカル、能、歌舞伎）の特徴を理解し、そのよさについて感じたことや考えたことをそれぞれの音楽文化の特徴から比較してまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述 ・発表の内容 ・振り返りの内容
6	デントウ×ト×カクシン 時代を越えて愛される箏の響き	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・箏の音色や基本的な奏法を生かしたソロまたはアンサンブルによる演奏 ・現代邦楽の鑑賞 	箏の音色や奏法の特徴を生かして、音楽表現を工夫する。また、その音楽表現に必要な技能を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述 ・練習への取り組み内容 ・発表の内容 ・振り返りの内容
5	コンサートを鑑賞しよう	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・音楽Ⅱのクリスマスコンサートの鑑賞 ・音楽Ⅲの卒業コンサートの鑑賞 ・演奏研究のミニコンサートの鑑賞 	音楽のよさや美しさを感じ取り、感じたことを、音楽を構成する要素を根拠にまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記述 ・振り返りの内容
70							

令和8年度 教科年間計画

教科	理科	1年	使用 教材	【教科書】 東京書籍 新編 化学基礎
科目	化学基礎	2単位		【副教材】 東京書籍 新編 ニューサポート

科目の目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・ 技能	物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けているか。	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	基準に達していない
②思考力 判断力 表現力	学んだ知識や技能を活用して現象を解釈し、表現することができているか。	学んだ知識や技能を活用して現象を解釈し、応用して表現・計算をすることができているか。	学んだ知識や技能を活用して現象を解釈し、基本的な計算等の表現・計算をすることができているか。	基準に達していない
③主体的に 学習に取り 組む態度	実験や調べ活動に主体的に関わり、科学的に探究しようとしているか。	実験や調べ活動に主体的に関わり、学習した知識を正しく使うことができ、科学的に探究しようとしている。	実験や調べ活動に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。	基準に達していない

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
化学とは何か	・化学とは何か	1	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの物や製品について、話し合いながらそれらはどんな物質でできているという視点で考えている。(主) ・物質の性質をもとに、分離の方法を考えることができる。(思) ・身の回りの多くの物質が、化学変化を利用していることを理解している。(知) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
物質の成分と構成元素	1節 物質の成分	3	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・混合物から純物質を分離する方法を理解している。混合物に含まれる成分を、性質の違いによって分離する方法を理解している。(知) ・色素を分離する実験について、色素のどのような性質によって分離されたかを科学的に考察している。(思) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
	2節 物質の構成元素	4	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・炎色反応や沈殿の生成で、元素の種類を確認できることを理解している。元素の同素体について、違いについて科学的に説明できる。(知) ・炎色反応の色から水溶液に含まれる元素を科学的に考察している。(思) ・炎色反応の実験を行い、元素の種類を推測するなど科学的に考察しようとしている。(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
	3節 物質の三態	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・状態変化には粒子の熱運動が関係していることを理解している。(知) ・実験の過程を観察し、状態変化に伴う変化を捉えようとしている。また、粒運動と物質の三態変化を探究し、これらの関係性を見いだして表現している。(思) ・この章で身についたことを共有して自己評価する。(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
原子の構造と元素の周期表	1節 原子の構造	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・原子の構造及び陽子、中性子、電子の性質を理解している。(知) ・放射性同位体同位体について、話し合いながらそれらは身のまわりでどのように使われているという視点で考えようとしている。(思) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
	2節 電子配置と周期表	4	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・代表的な典型元素の電子配置について理解している。元素の周期律及び原子の電子配置と周期表の族と周期都の関係について理解している。(知) ・アルカリ金属の性質を観察し、同族元素について性質を見通し、関係性を表現している。元素の周期律について規則性を見いだして表現している。元素の性質について考察する。(思) ・この章で身についたことを共有して自己評価する。(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
化学結合	1節 イオンとイオン結合	5	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解している。イオン結合およびイオン結晶の性質を理解している。(知) ・元素の周期律とイオン化エネルギーの関係性を見だし表現できる。(思) ・イオン結晶についての実験を行い、イオン結晶やイオンの性質について考察しようとしている。(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
	2節 分子と共有結合	4	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・共有結合を電子配置と関連付けて理解している。分子からなる物質の性質を理解している。(知) ・物質の極性と溶解性の関係性を予想し、実験を通じて関係性を見だし表現できる。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
	3節 金属と金属結合	2	○			<ul style="list-style-type: none"> ・金属の性質及び金属結合を理解している。(知) ・金属とその用途について、話し合いながらそれらは身のまわりでどのように使われているという視点で考えようとしている。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
	4節 化学結合と物質の分類	2		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・化学結合と物質の分類について、話し合いながら規則性や関係性を解釈して表現しようという視点で考えようとしている。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
前期期末考査		1	○	○	○		
物質 量と化学 反応式	1節 原子量・分子量・式量	2	○			<ul style="list-style-type: none"> ・相対質量と原子量を理解している。(知) 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト
	2節 物質量	4	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・物質量と粒子、質量、気体の体積の関係について理解している。(知) ・物質量と粒子、質量、気体の体積について、話し合いながら見通しをもって観察し、得られた結果を分析している。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト
	3節 溶液の濃度	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・モル濃度について理解している。(知) ・水溶液の調整について、話し合いながら確認し、観察し、得られた結果を分析している。(思) 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト
	4節 化学反応の表し方	3	○			<ul style="list-style-type: none"> ・化学反応式やイオン反応式について理解している。(知) 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト
	5節 化学反応式の表す量的関係	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・化学反応式が化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを見だして理解している。(知) ・化学反応における量的関係についての実験を行い、化学反応式の係数が物質量の比を表していることを見出そうとしている。(主) ・実験から、物質量の比が化学反応式の比を表していることを見だしている。(思) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験 ・単元テスト

酸と塩基	1節 酸と塩基	2	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 酸と塩基の性質及び定義を理解する。(知) 酸と塩基の強弱と電離度の関係性を予想し、実験を通じ関係性を見だし表現できる。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> 実験 単元テスト
	2節 水素イオン濃度とpH	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 水溶液の酸性・塩基性は、水素イオン濃度やpHで表せることを理解している。(知) pH指示薬について理解している。(知) 身近な物質のpHを測定し、考察しようとしている。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> 実験 単元テスト
	3節 中和反応と塩の生成	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 酸と塩基が完全に中和するときの化学反応式及び塩の水溶液について理解している。(知) 身近のまわりの物質のpHを測定し、様々な比較を加えて考えようとしている。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> 実験 単元テスト
	4節 中和反応	4	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 酸と塩基の中和反応に関与する物質の量的関係について理解している。(知) 中和滴定操作における基本的な技術を習得するとともに、実験などを通じて結果を分析し解釈することができる。(思) 中和滴定の実験を行い、正しく器具を使い、考察をしようとしている。(主)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> 実験 単元テスト
単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
酸化還元反応	1節 酸化と還元	2	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 酸化と還元が電子の授受によることを理解している。(知) 酸化と還元の定義について、話し合いながら確認し、酸化数の増減について見いだす活動を行っている。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> 実験 単元テスト
	2節 酸化剤と還元剤	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応式を理解する。(知) 酸化剤と還元剤の反応を調べる実験を行い、それぞれの結果を化学反応式で表すなど、科学的に考察を行おうとしている。(主)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> 実験 単元テスト
	3節 金属の酸化還元反応	3	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 金属イオン化傾向を理解している。(知) 金属の陽イオンへのなりやすさを比較測定し、話考察する。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> 実験 単元テスト
	4節 酸化還元反応の応用	2	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 電池の構造やしくみ及び金属の製錬について理解している。(知) 電池について構造とその用途について、身のまわりでどのように使われているという視点で考えようとしている。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> 実験 単元テスト
化学が拓く世界	終章 化学が拓く世界	2	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 学んできた事が日常生活や科学技術と結びついていることを理解する。(知) 日常生活や社会を支えている科学技術について、話し合い、その用途や社会課題に対する解決策などを様々な視点で考察している。(思)(主) 	<ul style="list-style-type: none"> 実験 単元テスト
学年末考査		1	○	○	○		
時数合計		70					

令和8年度 教科年間計画

教科	家庭	1年	使用 教材	【教科書】家庭総合 自立・共生・創造
科目	家庭総合	2単位		

科目の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて科学的に理解しているとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて科学的に理解している。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察することができる。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的に 学習に取り 組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善することができる。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
生涯を見通す	人生を展望する	2	○	○	○	自立した生活を営むために、ライフステージの特徴と課題を理解する。	ワークシート
	目標を持って生きる	1	○	○	○	生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、人生の目標を描く。	単元テスト
人生をつくる	人生をつくる	7	○	○	○	生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。	単元テスト
	家族・家庭を見つめる	4	○			家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。	
	これからの家庭生活と社会	3		○	○	仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結びつきについて考える。	
食生活を作る	食生活の課題について考える	3	○	○	○	食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。	ワークシート
	食事の栄養・食品	9	○		○	栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。	実技テスト
	食生活の選択と安全	3	○		○	食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。	振り返りシート
	生涯の健康を見通した食事計画	3	○	○	○	各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し、健康によい、栄養バランスのよい食事とはどのようなものかを考える。	レポート
	調理の基礎	4	○			食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身に着ける。	
衣生活をつくる	被服の役割を考える	3	○	○	○	私たちが被服を着用するに至った社会的・文化的背景と被服の多様な働きを理解し、まとめる。	ワークシート
	被服を入手する	5	○		○	健康・快適・安全な生活を送るために被服に施されている工夫について理解する。	実技テスト
	被服を管理する	3	○		○	手持ちの被服を長期にわたり着用することができるよう、管理や手入れの工夫について理解する。	作品 振り返りシート
	衣生活の文化と知恵	2	○	○	○	日本の衣生活の変遷や日本の衣文化に込められる知恵や技術について知る。	
	被服を作る	15	○		○	制作に必要な用具の使い方を理解し、生活に必要な技術を身につける。	レポート

	これからの衣生活	3		○	○	資源の消費の視点で自分の衣生活を見直す。	
時数合計		70					

令和8年度 教科年間計画

教科	国語	1年	使用 教材	【教科書】標準 現代の国語（第一学習社）
科目	現代の国語	2単位		【副教材】学習課題集 標準現代の国語 常用漢字の標準演習 改訂版

科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する・資質能力を育成する。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わるの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わる中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにできている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わるの中で伝え合う力を高めることができている。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的に 学習に取り 組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
思考力・判断力を培う	枠を壊して自由に生きる	4	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> ・アンドロイドがどういう特徴を持つものであるかを理解している。 ・「他人が決めた枠」とはどのようなものかについて、具体例をもとに的確に捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・プリント ・ワーク
	書き方の基礎レッスン	3	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> ・表記、表現の基本ルールを理解する。 ・接続表現の種類や用法を理解する。 ・比喩などの表現技法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・プリント ・ワーク
	なぜ本を読むのか	4	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> ・実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・文章の論理展開を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って具体的に考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・プリント ・ワーク
	言葉遣いとアイデンティティ	5	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える動きがあることを理解している。 ・「書くこと」において、目的に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・文章の論理展開を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って具体的に考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・プリント ・ワーク

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
	話し方の基礎レッスン	4	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 ・相手により伝わりやすい表現方法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・プリント ・ワーク
	水の東西	4	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・プリント

					<p>容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク 	
	スピーチで自分を伝える	5	○	話聞	○	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を大勢の聞き手に分かりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 ・他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・プリント ・ワーク
	私たちはなぜ承認を求め るのか	4	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・プリント ・ワーク
前期期末考査		1	○	読			
	地域の魅力を伝える紹介文 を書く	4	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を的確に紹介する方法を理解する。 ・必要な情報や資料を収集・整理し、わかりやすい紹介文を書くために活用する方法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・プリント ・ワーク

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
	数量化のジレンマ	4	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> 内容の構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 書き言葉の特徴を踏まえ、適切さなどに配慮した表現について理解し、活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元テスト プリント ワーク
	言語としてのピクトグラム	4	○	読	○	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方をもとに、文章の種類や、文体、語句などの表現の工夫をしている。 積極的に写真を伴う文章を読み、解釈したことをまとめて発表しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元テスト プリント ワーク
	相手に伝わる案内をする	3	○	話 聞	○	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 協働して資料や機器を用いて、相手の理解を得られる工夫をしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元テスト プリント ワーク
	人はなぜ仕事をするのか	3	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方をもとに、文章の種類や、文体、語句などの表現の工夫をしている。 積極的に比喻や例示の効果を理解し、読み取ったことを説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元テスト プリント ワーク

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
	黄色い花束	3	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 ・戦争や紛争について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・プリント ・ワーク
	「生物多様性」はなぜ大事なのか	4	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・「書くこと」において、説明の仕方を考えるとともに、表現の仕方を工夫している。 ・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・プリント ・ワーク
	理想の見学旅行をプレゼンする。	5	○	話聞	○	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の心に訴えかけるプレゼンテーションの方法を理解し、実践に向けて取り組むことができる。 ・効果的なスライドの作り方を理解し、効果を考えながら、スライドのデザインについて検討・作成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・プリント ・ワーク
	社会に対する意見文を書く	5	○	書	○	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、使っている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・目的に応じてテーマを決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・プリント ・ワーク
学年末考査		1	○	読			
合計		70	話・聞：22 書：38 読：10				

令和8年度 教科年間計画

教科	国語	1年	使用	【教科書】新編 言語文化（数研出版）
科目	言語文化	2単位	教材	【副教材】新編 言語文化 準拠ワーク

科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する・資質能力を育成する。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わるの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わるの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わるの中で伝え合う力を高めることができている。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的に 学習に取り 組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
「地域」のことば	とんかつ	4	○	読	○	文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができている。 積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	・単元テスト ・プリント ・ワーク
受け継がれる古典	羅生門	7	○	読	○	文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができている。 積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	・単元テスト ・プリント ・ワーク
「古文の世界」を楽しむ	古典文法 宇治拾遺物語	8	○	読	○	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 本文を通釈したうえで積極的に慣用句の意味用法を調べ、学習課題に沿ってオリジナルの短文を作ろうとしている。	・単元テスト ・プリント ・ワーク
詩歌を味わう	俳句 短歌	3	○	書	○	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 学習課題に沿って、粘り強く鑑賞文の作成に取り組もうとしている。	・単元テスト ・プリント ・ワーク
日本語の中に生きる漢文	訓読のきまり 格言	8	○	読	○	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 漢文に由来する学校名・会社名・人名などを調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明しようとしている。	・単元テスト ・プリント ・ワーク

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
前期期末考査		1	○	読			
「ことば」 を吟味する	舟を編む	4	○	読	○	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。「読むこと」において、作品や文章に表れているもの の見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って考察しようとしている。	・単元テスト ・プリント ・ワーク
現代にも生きる教え	古典文法 徒然草	10	○	読	○	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 「読むこと」において、作品や文章に表れているもの の見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 和歌に込められた心情を粘り強く解釈し、学習課題に沿ってそれを現代語の短歌に書き直そうとしている。	・単元テスト ・プリント ・ワーク
受け継がれる漢文	山月記	5	○	読	○	文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。 進んで題名の意味を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加することができる。	・単元テスト ・プリント ・ワーク
和歌が作り出す世界/	万葉集・古今和歌集・ 新古今和歌集	2	○	書	○	本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 好きな和歌について積極的に調べ、学習課題に沿って紹介文を書こうとしている。	・単元テスト ・プリント ・ワーク
「故事と成語」	助長 漁夫の利 虎の威を借る狐	5	○	読	○	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。	・単元テスト ・プリント ・ワーク

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
漢詩を味わう	春暁 江雪 送元二使安西 春望	4	○	読	○	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 日本で書かれた漢詩を調べて発表する活動において、粘り強く課題に取り組んでいる。	・単元テスト ・プリント ・ワーク
学年末考査		1	○	読			
昔と変わらない人の心	古典文法 伊勢物語	8	○	読	○	古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 和歌に込められた心情を粘り強く解釈し、学習課題に沿ってそれを現代語の短歌に書き直そうとしている。	・単元テスト ・プリント ・ワーク
合計		70	現・読：22 古・読：43 書：5				

令和8年度 教科年間計画

教科	公民	1年	使用 教材	【教科書】高等学校 公共（帝国書院）
科目	公共	2単位		【副教材】高等学校 公共ノート（帝国書院） テーマ別資料 公共.2026（とうほう）

科目の目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有意な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識 ・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切に収集し、効果的にまとめる技能を身に付けているか。	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切に収集し、効果的にまとめる技能を身に付けている。	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を調べまとめる技能を身に付けている。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養っているか。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養っている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に考察し公正に判断する力や、構想したことを議論する力を養っている。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的 に学習に 取り組む 態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められている。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められている。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
公共的 空間を つくる	大人へ向かう私たち 悩みと向き合うためのヒント 多様な個性が存在する社会 社会に息づく宗教 日本の伝統・文化	5	○			人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解しているか。	単元テスト① プリント ノート
	社会を作る私たち	1			○	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人権や主権、平和を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。	単元テスト① プリント ノート
公共的 空間に おける 人間と しての あり 方・生 き方	よりよく生きる 幸福と正義 動機と結果の考え方	3	○	○		人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解しているか。 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現しているか。	単元テスト① プリント ノート
	他者と共に生きる倫理	1			○	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人権や主権、平和を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。	単元テスト① プリント ノート
単元テスト①		1	○	○			
宗教・ 思想・ 伝統文 化	宗教について 日本の思想 日本の伝統と文化	2	○			人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解しているか。	単元テスト② プリント ノート
	公共空間とは	1		○	○	社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社	単元テスト② プリント

					<p>会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現しているか。</p> <p>よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人権や主権、平和を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。</p>	ノート
単元テスト②		1	○	○		

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
公共的空間における基本原理	近代憲法に流れる考え方 日本国憲法の基本原理 平等権 自由権 社会権 新しい人権	6	○		○	<p>人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解しているか。</p> <p>よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人権や主権、平和を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。</p>	単元テスト③ プリント ノート
単元テスト③		1	○	○			
法や規範の意義と役割	社会規範と法 私たちの生活と法	5	○		○	<p>人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解しているか。</p> <p>よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人権や主権、平和を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。</p>	単元テスト④ プリント ノート
契約と消費者の権利・責	契約の考え方 消費者の権利と責任	1	○		○	<p>人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりするこ</p>	単元テスト④ プリント ノート

任					<p>などを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解しているか。</p> <p>よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人権や主権、平和を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。</p>	
司法参加の意義	司法の役割 刑事裁判とその課題	2	○	○	<p>人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解しているか。</p> <p>社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現しているか。</p>	単元テスト④ プリントノート
単元テスト④		1	○	○		
政治の役割と政治参加	政治と権力 議院内閣制と国会 権力分立と行政 世界の政治体制 地方自治の役割 政党政治とメディア	5	○	○	<p>人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解しているか。</p> <p>よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人権や主権、平和を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。</p>	単元テスト⑥ プリントノート
	国民の政治参加と選挙	1	○	○	<p>人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解しているか。</p> <p>社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて</p>	単元テスト⑤ プリントノート

					て多面的・多角的に考察し、表現しているか。	
主権国家と国際政治	国家と国際法 日本の主権と領土 国際連合の役割 国際的な人権保障	3	○		人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解しているか。	単元テスト⑥ プリント ノート
単元テスト⑤		1	○	○		
日本の安全保障と防衛	平和主義と防衛政策 日本の安全保障	2	○		○ 人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解しているか。 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人権や主権、平和を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。	単元テスト⑥ プリント ノート
国際社会の課題と日本の役割	紛争とテロリズム 核兵器と軍縮の課題 国際協力と日本の役割	2	○	○	人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解しているか。 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現しているか。	単元テスト⑥ プリント ノート
単元テスト⑥		1	○	○		

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
市場経済の機能と限界	私たちの生活と経済のしくみ 市場経済のしくみ 企業の目的と役割 経済変動	4	○		○	人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解しているか。 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人権や主権、平和を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。	単元テスト⑦ プリント ノート
金融の動き	金融の役割 中央銀行と金融政策	2	○	○		人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解しているか。 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現しているか。	単元テスト⑦ プリント ノート
財政の役割と社会保障の課題	政府の役割と財政の機能 財政の課題 社会保障の役割 社会保障制度の課題	3	○	○		人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解しているか。 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現しているか。	単元テスト⑦ プリント ノート
単元テスト⑦		1	○	○			
労働者の権利と雇用・労働	労働者の権利 雇用と労働に関する課題	2	○		○	人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解しているか。 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現しているか。	単元テスト⑧ プリント ノート

働問題					<p>となどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解しているか。</p> <p>よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人権や主権、平和を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。</p>		
社会変化と職業選択	産業構造の変化と職業選択 社会を支える産業と変革	2	○	○	<p>人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解しているか。</p> <p>社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現しているか。</p>	単元テスト⑧ プリント ノート	
経済のグローバル化	国際経済のしくみ 国際収支と為替レート 国際経済制度の歩み 地域経済統合 グローバル化と自由貿易協定	4	○	○	○	<p>人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解しているか。</p> <p>社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現しているか。</p> <p>よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人権や主権、平和を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。</p>	単元テスト⑧ プリント ノート
	国際経済の変化と課題 経済格差の是正	1		○		<p>社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現しているか。</p>	単元テスト⑧ プリント ノート
	単元テスト⑧	1	○	○			

持続可能な社会づくりの主体となる私たち	探究課題の設定 情報の収集・読み取り・分析 考察を深める 自分の考えの説明・論述 探究課題例	3		○	○	<p>社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現しているか。</p> <p>よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、人権や主権、平和を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深められているか。</p>	単元テスト⑨ プリント ノート
単元テスト⑨		1		○	○		
時数合計		70					

令和8年度 教科年間計画

教科	情報	1年	使用 教材	情報Ⅰ Step Forward! (東京書籍)
科目	情報Ⅰ	2単位		情報Ⅰ Step Forward! 学習ノート (東京書籍)
				ニューステップアップ情報Ⅰ 教科書傍用問題集 (東京書籍)

科目の目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、関連する技能を説明できる程度に確実に身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	「B」の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ工夫して考え、判断し、効果的に表現している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	「B」の求められる基準に達していない。
③主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自己の学習を振り返り、修正点や新たな気づきを提示し、学習の自己調整をしようとしているなど、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。	「B」の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知:知識・技能 思:思考力・判断力・表現力 主:主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
	00 オリエンテーション (+iPad 開き)	2	○			<ul style="list-style-type: none"> ・Society5.0から情報Iの学習目標とシラバスを理解する。【知】 ・iPadで、基本的な操作の仕方を理解する。【知】 	
	01 情報とその特性 02 メディアとその特性	1	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・情報とは何かを理解する。【知】 ・情報の信憑性を評価する方法を理解する。【知】 ・メディアとは何かを理解する。【知】 ・各種メディアの特性を理解する。【知】 ・コミュニケーションの場面で適切なケアができる。【思】 	ワーク【知】 スライド【知】【思】
	03 問題を解決する方法 04 情報の収集と分析	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・問題を発見・解決するための一連の流れを理解する。【知】 ・PDCAサイクルについて学習し、理解する。【知】 ・データマイニングについて学習し、理解する。【思】 	ワーク【知】 スライド【知】【思】
	05 解決方法の考案	1	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の各場面で活用できる発想方法や手法(マインドマップ、ブレインストーミング、KJ法)のやり方を身につけている。【知】 ・いろいろな考えを目的に沿って整理することができる。【思】 	ワーク【知】 スライド【知】【思】
	06 知的財産権 07 個人情報	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・知的財産権の定義と関連した法規を理解出来る。【知】 ・個人情報とは何かできる。【知】 ・個人情報やプライバシーに関連した法規を理解出来る。【知】 ・正しい引用で表現できる。【思】 ・個人情報が流出する原因を判断できる。【思】 	ワーク【知】 スライド【知】【思】
	08 情報セキュリティ 09 情報モラルと個人の責任	2	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティで確保すべき要素を理解出来る。【知】 ・情報セキュリティに関する法規や制度を理解出来る。【知】 ・ソーシャルエンジニアリングにより情報が盗まれる理由を理解出来る 	ワーク【知】 スライド【知】【思】

					る。【知】 ・個人のマナーの意味を理解することができる。【思】	
	10 情報技術の進歩と役割 11 情報技術が社会に与える光と影	2	○	○	・情報技術による社会や生活の変化が理解できる。【知】 ・情報化による健康への影響やデジタルデバイスなどの「影」の部分を理解できる。【思】	ワーク【知】 スライド【知】【思】
	#単元テスト (情報社会)	1	○	○	○	テスト【知】【思】 振り返り【主】
第2章 情報デザイン	12 コミュニケーションとメディア	1	○	○	・コミュニケーションと技術の関係を理解できる。【知】 ・情報技術の発達によるメディアとコミュニケーションの変化を考えられる。【思】	ワーク【知】 スライド【知】【思】
	13 情報のデジタル化	1	○	○	・コンピュータがどのようにデジタルデータを扱うか理解できる。【知】 【思】	ワーク【知】 スライド【知】【思】
	14 数値の表現 15 2進法の計算	1	○	○	・2進法, 10進法, 16進法の数の変換ができる。【知】【思】 ・2進法による加算と減算ができる。【知】【思】	ワーク【知】 スライド【知】【思】
	16 文字のデジタル表現	1	○	○	・文字コードについて理解できる。【知】 ・文字コードの違いを理解できる。【知】 ・画像と文字データのの違いを考慮することができる。【思】	ワーク【知】 スライド【知】【思】
	17 音のデジタル表現	1	○	○	・音のデジタル化の標本化, 量子化, 符号化が理解できる。【知】【思】	ワーク【知】 スライド【知】【思】
	18 画像のデジタル化	1	○	○	・画像のデジタル化の標本化, 量子化, 符号化が理解できる。【知】 ・動画の仕組みが理解できる。【知】 ・解像度と色の階調からデータ量を考えることができる。【思】	ワーク【知】 スライド【知】【思】
	19 データの圧縮	1	○	○	・圧縮とその手法を理解できる。【知】 ・可逆圧縮と非可逆圧縮の違いが理解できる。【知】【思】	ワーク【知】 スライド【知】【思】
	20 デジタルデータの特徴	1	○	○	・デジタルデータのプラス面とマイナス面を理解できる。【知】【思】	ワーク【知】 スライド【知】【思】

	21	メディアと文化の発展	1	○	○		・インターネットで情報が流通する仕組みや、用いられるツールを理解できる。[知] [思]	ワーク [知] スライド [知] [思]
	22	ネットコミュニケーションの特徴	1	○	○		・匿名性のメリットとデメリットが理解できる。[知] ・ネットワークの記録性について理解できる。[知] ・情報の偏りと隠された意図を見抜き、正しい情報を判断できる。[思]	ワーク [知] スライド [知] [思]
	23	情報デザイン	1	○	○		・情報デザインの目的を理解できる。[知] ・情報を整理し、抽象化、可視化、構造化して表現できる。[思]	ワーク [知] スライド [知] [思]
	24	操作性の向上と情報技術	1	○	○		・ユーザインタフェースとユーザエクスペリエンスを理解できる。[知] [思]	ワーク [知] スライド [知] [思]
	25	全ての人に伝わるデザイン	1	○	○		・色や文字のデザインを理解できる。[知] ・使いやすいユーザインタフェースを考えることができる。[思]	ワーク [知] スライド [知] [思]
	26	コンテンツ設計	1	○	○		・情報デザインのプロセスを活用する方法を身につけている。[知] [思]	ワーク [知] スライド [知] [思]
		#単元テスト (情報デザイン)	1	○	○	○		テスト [知] [思] 振り返り [主]
		前期期末テスト	1	○	○	○		テスト [知] [思] 振り返り [主]
第3章 プログラミング	27	コンピュータの構成	1	○	○		・基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの違いを理解できる。[知] [思]	ワーク [知] スライド [知] [思]
	28	ソフトウェア	1	○	○		・コンピュータの処理とデータの流れを理解できる。[知] [思]	ワーク [知] スライド [知] [思]
	29	処理の仕組み	1	○	○		・ノイマン型コンピュータの仕組みを理解できる。[知] ・CPUでのプログラムの実行の仕組みを理解できる。[知] [思]	ワーク [知] スライド [知] [思]
	30	論理回路	1	○	○		・基本論理回路とそれを組み合わせて計算する仕組みが理解できる。[知] [思]	ワーク [知] スライド [知] [思]

	31 アルゴリズムの表現	1	○	○		・アルゴリズムの制御構造を理解できる。[知] ・フローチャートとアクティビティ図でアルゴリズムを表現できる。[知] [思]	ワーク [知] スライド [知] [思]
	32 アルゴリズムの効率性	1	○	○		・探索と整列のアルゴリズムを考慮することができる。[思] ・アルゴリズムの効率を考慮することができる。[思] [思]	ワーク [知] スライド [知] [思]
	33 プログラムの仕組み	1	○	○		・プログラムを作ることができる。[知] ・プログラムのデータ構造を理解できる。[知] [思]	ワーク [知] スライド [知] [思]
	34 プログラミング入門 35 プログラムの応用	1	○	○		・関数の意味と利用方法を理解できる。[知]	ワーク [知]
	#プログラミング実践 (プログラミング&アルゴリズム攻略テキスト)	13		○		・プログラムでアルゴリズムを表現できる。[思] ・配列やリストをプログラムで使用できる。[思] ・条件分岐や繰り返しを使用してプログラムを表現できる。[思]	レポート [思]
	36 問題のモデル化	1	○	○		・モデル化の考え方が理解できる。[知]	ワーク [知] スライド [知] [思]
	37 モデル化の活用	1	○	○		・静的モデルと動的モデルが理解できる。[知] ・物理モデル, 図的モデル, 数理モデルを理解できる。[知] ・適切な方法でモデルを表現できる。[思]	ワーク [知] スライド [知] [思]
	38 シミュレーション	1	○	○		・モデル化とシミュレーションにおける注意点を理解できる。[知]	ワーク [知] スライド [知] [思]
	39 シミュレーションの活用	1	○	○		・表計算ソフトウェアでシミュレーションを行う方法を身につけている。[知] ・適切なプログラムでシミュレーションを行うことができる。[思]	ワーク [知] スライド [知] [思]
	#単元テスト	1	○	○	○		テスト [知] [思] 振り返り [主]
第4章 ネットワーク	40 情報通信ネットワーク	1	○	○	○	・インターネットとはどのようなものか理解できる。[知] ・小規模ネットワークの構成を考えられる。[思]	ワーク [知] スライド [知] [思]

第4章 ネットワークの活用

					・粘り強く、ネットワークを構成しようとしている。[主]	
41 デジタル通信の仕組み	1	○	○		・サーバとクライアントの役割を理解できる。[知]	ワーク【知】 スライド【知】【思】
42 インターネットの利用	1	○	○		・電子メールを送受信する仕組みを理解できる。[知] ・DNSの役割と動作の仕組みを理解できる。[知] ・Webページの構造を表現できる。[思]	ワーク【知】 スライド【知】【思】
43 安全安心を守る仕組み	1	○	○		・暗号化方式を理解できる。[知] [思]	ワーク【知】 スライド【知】【思】
44 情報システム	1	○	○		・いろいろな情報システムのサービスを理解できる。[知]	ワーク【知】 スライド【知】【思】
45 さまざまな情報システム	1	○	○		・電子マネーの種類と仕組みを理解できる。[知] ・身近に利用できる情報システムを考えることができる。[思]	ワーク【知】 スライド【知】【思】
46 情報システムの信頼性	1	○	○		・情報システムの信頼性の指標が理解できる。[知] ・情報のバックアップと、機材の故障等の対応方法を理解できる。[知] ・ファイアウォールの役割と機能を説明できる。[思]	ワーク【知】 スライド【知】【思】
47 データの活用とデータベース	1	○	○		・データベース管理システムの必要性を理解できる。[知]	ワーク【知】 スライド【知】【思】
48 データの管理	1	○	○		・関係データベースのデータ処理方法を理解できる。[知] ・関係データベースの操作ができる。[知] ・データを分析することができる。[思]	ワーク【知】 スプレッドシート【知】【思】
49 データの収集と種類	1	○	○		・質的データと量的データの違いを理解できる。[知] ・名義尺度、順序尺度、間隔尺度、比例尺度の違いを理解できる。[知] ・欠損値や外れ値などのデータを処理することができる。[思]	ワーク【知】 スプレッドシート【知】【思】
50 データの分析	1	○	○		・データを可視化できる。[知] ・テキストマイニングの意味と活用方法を考えることができる。[思]	ワーク【知】 スプレッドシート【知】【思】

51 不確実な事象の解釈	1	○	○		・仮説検定の考え方が理解できる。 [知] ・相関関係について理解できる。	ワーク [知] スプレッドシート [知] [思]
52 2つのデータの関係	1	○	○		[知] ・回帰式について理解できる。 [知] ・相関から正しい因果関係が判断できる。 [思]	ワーク [知] スプレッドシート [知] [思]
#単元テスト	1	○	○	○		テスト [知] [思] 振り返り [主]
後期期末テスト	1	○	○	○		テスト [知] [思] 振り返り [主]
時数合計	70					

令和8年度 教科年間計画

教科	数学	1年	使用 教材	改訂版 最新 数学 I (数研出版)
科目	数学 I	3単位		3ROUND 数学 I +A (数研出版)

【科目の目標】

数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

【評価の観点】

評価の観点		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・ 技能	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。	命題の条件や結論に着目し、数や式を目的に応じて適切に変形する力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決する力を身に付けている。	左側の求められる基準に達していない。

<p>③主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。</p>	<p>左側の求められる基準に達していない。</p>
-----------------------	---	--	--	---------------------------

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
数と式	<p>第1節：数と式</p> <p>1. 多項式の加法、減法、乗法</p> <p>2. 多項式の整理</p> <p>3. 指数法則</p> <p>4. 式の展開 (基本公式)</p> <p>5. 式の展開 $((a+b+c)^2$ など)</p> <p>6. 式の展開 (工夫)</p> <p>7. 式の展開 (置き換え)</p> <p>8. 演習</p> <p>9. 因数分解 (共通因数)</p> <p>10. 因数分解 (2次式の公式)</p> <p>11. 因数分解 (たすき掛け)</p> <p>12. 因数分解 (複数の文字を含む式)</p> <p>13. 因数分解</p> <p>14. 因数分解 (置き換え・工夫)</p> <p>15. 演習</p>	15	○	○	○	<p><u>学習のねらい</u></p> <p>式の展開や因数分解の公式を理解し、式の特徴に着目して適切に処理する技能を身に付ける。</p> <p><u>評価規準</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 多項式の整理、指数法則、展開・因数分解の公式を理解し計算できる。【知】 複雑な式に対し、式の工夫 (置き換えや整理) の仕方を判断して展開・因数分解できる。【思】 3 ROUND を用いた反復演習を通じて、複雑な因数分解に粘り強く取り組もうとしている。【主】 	<p>①小テスト</p> <p>②プリント</p>
	#1 単元テスト	1	○	○	○		<p>①テスト</p> <p>②レポート</p>
	<p>第2節：実数</p> <p>17. 実数の体系</p> <p>18. 平方根の性質</p> <p>19. 根号を含む式の計算</p> <p>20. 分母の有理化</p> <p>21. 実数の計算演習</p>	6	○	○	○	<p><u>学習のねらい</u></p> <p>実数の体系と平方根の性質を理解し、根号を含む式の計算を習得する。</p> <p><u>評価規準</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 実数の四則計算や分母の有理化を正しく実 	<p>①小テスト</p> <p>②プリント</p>

	22. 演習					行できる。【知】 ・数の範囲が拡張される過程を論理的に考察し、既習の性質と関連付けて表現できる。【思】 ・学習した数の体系を整理し、授業ファイルを活用して自らの理解を深めようとしている。【主】	
	#2 単元テスト	1	○	○	○		①テスト ②レポート
	第3節：1次不等式 24. 不等式の性質 25. 1次不等式の解法 26. 連立一次不等式 27. 絶対値を含む方程式 28. 絶対値を含む不等式 29. 不等式の利用	6	○	○	○	学習のねらい 不等式の性質を理解し、1次不等式を事象の解決に活用する。 評価規準 ・不等式の性質を理解して、1次不等式や連立不等式を解くことができる。【知】 ・不等式の解を数直線上の点と対応させて視覚的に考察し、解の意味を説明できる。【思】 ・身近な問題を不等式でモデル化して解決しようとし、振り返りシートで改善点を見出そうとしている。【主】	①小テスト ②プリント
	#3 単元テスト	1	○	○	○		①テスト ②レポート
集合と命題	31. 集合の要素と表し方 32. 部分集合、共通部分と和集合 33. 補集合とド・モルガンの法則 34. 命題と条件、必要十分条件 35. 条件の否定、命題の逆・裏・対偶 36. 対偶を用いた証明 37. 背理法による証明	7	○	○	○	学習のねらい 集合の概念、命題の真偽、必要十分条件を理解し、論理的に考察・証明する力を養う。 評価規準 ・集合の記号、命題、条件、逆・裏・対偶、必要十分条件の意味を理解している。【知】 ・ベン図等で集合を視覚化して考察したり、対偶や背理法を用いて論理的な証明を構成できる。【思】 ・直接証明が難しい命題に対し、間接証明法の有用性を認識し、論理的根拠に基づいて判断しようとしている。【主】	①小テスト ②プリント
	#4 単元テスト	1	○	○	○		①テスト ②レポート
2次関数	第1節：2次関数とグラフ 39. 関数とグラフの基本、座標 40. 2次関数 $y = ax^2$ のグ	5	○	○	○	学習のねらい 2次関数のグラフの特徴を理解し、最大・最小の求め方を習得する。 評価規準	①小テスト ②プリント

<p>ラフ</p> <p>41. $y = a(x-p)^2 + q$ のグラフ (平行移動)</p> <p>42. $y = ax^2 + bx + c$ の変形 (平方完成)</p> <p>43. 2次関数のグラフのかき方</p>					<ul style="list-style-type: none"> 平方完成によりグラフの頂点や軸を求め、正確にグラフをかくことができる。【知】 定義域が変化する際の最大・最小の変化など、グラフの特徴を多面的に考察できる。【思】 3 ROUND で多様な関数の式変形を練習し、丁寧なグラフ作成を心がけている【主】 	
#5 単元テスト	1	○	○	○		<p>①テスト</p> <p>②レポート</p>
<p>45. グラフの平行移動・対称移動</p> <p>46. 2次関数の最大・最小 (基本)</p> <p>47. 2次関数の最大・最小 (定義域に制限がある場合)</p> <p>48. 最大・最小の応用 (文章題)</p> <p>49. 2次関数の決定 (頂点や軸が与えられたとき)</p> <p>50. 2次関数の決定 (3点が与えられたとき)</p> <p>51. 2次関数の決定 (最大・最小の条件から)</p> <p>52. 演習</p>	8	○	○	○	<p>学習のねらい</p> <p>2次関数のグラフの特徴を理解し、最大・最小の求め方を習得する。</p> <p>評価規準</p> <ul style="list-style-type: none"> 平方完成によりグラフの頂点や軸を求め、正確にグラフをかくことができる。【知】 定義域が変化する際の最大・最小の変化など、グラフの特徴を多面的に考察できる。【思】 3 ROUND で多様な関数の式変形を練習し、丁寧なグラフ作成を心がけている。【主】 	<p>①小テスト</p> <p>②プリント</p>
#6 単元テスト	1	○	○	○		<p>①テスト</p> <p>②レポート</p>
<p>第2節：2次方程式と2次不等式</p> <p>54. 2次方程式の解法</p> <p>55. 2次方程式の判別式</p> <p>56. 2次関数のグラフとx軸の共有点の個数</p> <p>57. グラフとx軸の共有点の座標</p> <p>58. 2次不等式の解法 (基本)</p> <p>59. 2次不等式の解法 (すべての実数・解なしの場合)</p> <p>60. 連立2次不等式</p> <p>61. 2次不等式の応用 (文章題)</p>	10	○	○	○	<p>学習のねらい</p> <p>2次関数のグラフとx軸の関係を理解し、2次方程式・不等式の解法を習得する。</p> <p>評価規準</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次方程式の解の公式や判別式、2次不等式の解法を理解し計算できる。【知】 グラフの共有点の個数と方程式の解の関係を、式とグラフを相互に関連付けて考察できる。【思】 振り返りシートを通じて、不等式を用いた事象解決のプロセスを客観的に評価・改善しようとしている。【主】 	<p>①小テスト</p> <p>②プリント</p>

	62. 2次方程式の解の存在範囲 63. 演習						
	#7 単元テスト	1	○	○	○		①テスト ②レポート
	前期期末考査	1	○	○	○		①テスト ②レポート
図形と 計量	第1節：三角比 66. 鋭角の三角比 67. 特別な角の三角比 68. 三角比の利用 69. 三角比の相互関係 70. 三角比の拡張 71. 鈍角の三角比の値 72. 座標を用いた三角比の定義 73. 三角比を含む方程式・不等式 74. 三角比の相互関係(拡張) 75. 演習	10	○	○	○	<p>学習のねらい</p> <p>三角比の定義を拡張して理解し、三角比の相互関係を用いて式を変形・計算する。</p> <p>評価規準</p> <ul style="list-style-type: none"> • sin, cos, tan の定義と相互関係を理解し、180° までの角の値を求めることができる。 <p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 座標平面上で三角比を定義する意義を理解し、角の大きさと値の変化を関連付けて考察できる。【思】 • 図を積極的に活用して三角比の値を求めようとし、具体的な測量への応用に興味を持っている。【主】 	①小テスト ②プリント
	#8 単元テスト	1	○	○	○		①テスト ②レポート
	第2節：正弦定理・余弦定理 77. 正弦定理 78. 余弦定理 79. 余弦定理 80. 三角形の形状決定 81. 正弦定理・余弦定理の総合演習 82. 三角形の面積 83. 四角形、多角形の面積 84. 図形の計量 85. 測量の問題への活用 86. 演習	10	○	○	○	<p>学習のねらい</p> <p>正弦定理・余弦定理を三角形の計量に応用し、面積や距離を求める力を養う。</p> <p>評価規準</p> <ul style="list-style-type: none"> • 正弦定理、余弦定理、三角形の面積公式を正しく用いて計算できる。【知】 • 測量などの事象において、どの定理を選択すべきかを判断し、解決の過程を論理的に表現できる。【思】 • 日常の事象に数学的な定理を活用しようとし、授業ファイルに解決の足跡を整理している。【主】 	①小テスト ②プリント
	#9 単元テスト	1	○	○	○		①テスト ②レポート

データの 分析	88. データの整理と度数分布表 89. データの代表値 90. データの散らばり 91. 箱ひげ図の作成と読み取り 92. データの比較と分析 93. 分散の定義と計算 94. 標準偏差の定義と計算 95. 分散・標準偏差の性質 96. 2つの変量間の相関 97. 散布図と相関関係 98. 相関係数の計算 99. 仮説検定の考え方 100. 仮説検定による判断 101. 演習	14	○	○	○	<u>学習のねらい</u> 分散、標準偏差、相関関係を理解し、データを適切に分析して客観的に判断する。 <u>評価規準</u> ・代表値、分散、標準偏差、相関係数の定義を理解し、値を求めることができる。【知】 ・箱ひげ図や散布図から分布や相関の傾向を読み取り、解決の結果を批判的に考察できる。【思】 ・データの散らばりを数値化する意義を考え、仮説検定などを通じて客観的に評価しようとしている。【主】	①小テスト ②プリント
	#10 単元テスト	1	○	○	○		①テスト ②レポート
	103. 総復習① 104. 総復習②	2	○	○	○		
	学年末考査	1	○	○	○		①テスト ②レポート
	合計	105					

令和8年度 教科年間計画

教科	数学	1年	使用	改訂版 最新 数学 A (数研出版)
科目	数学 A	2単位	教材	3ROUND 数学 I + A (数研出版)

【科目の目標】

図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

【評価の観点】

評価の観点		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・技能	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、数学と人間の活動の関係について認識を深めている。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身に付けている。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだす力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだす力を身に付けている。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的 に学習に 取り組む 態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
図形の性質	第1節：三角形の性質 1. 三角形の内角・外角の二等分線と比 2. 内分点・外分点の座標と比の計算 3. 三角形の辺の日の演習 4. 三角形の外心 5. 三角形の内心 6. 三角形の重心 7. チェバの定理 8. メネラウスの定理 9. 演習	9	○	○	○	学習のねらい 角の二等分線、三角形の五心、チェバ・メネラウスの定理を理解し、計量や証明に活用する。 評価基準 ・三角形の辺の比、外心・内心・重心の性質、各定理を用いて長さを求めることができる。 【知】 ・間接的な証明法を用いて図形の性質を論理的に説明できる。【思】 ・証明方法に関心を持ち、「3 ROUND」での演習を通じて粘り強く論理を組み立てようとしている。【主】	①小テスト ②プリント
	#01 単元テスト	1	○	○	○		①テスト ②レポート
	第2節：円の性質 11. 円周角の定理とその逆 12. 円に内接する四角形の性質 13. 円周角を用いた角の大きさの考察 14. 円の接線の性質と辺の長さ 15. 接弦定理の理解と角の計算 16. 接弦定理の証明 17. 演習 18. 方べきの定理① 19. 方べきの定理② 20. 2つの円の位置関係 21. 中心間の距離と半径の関係の判定	11	○	○	○	学習のねらい 円周角、接弦定理、方べきの定理、2つの円の位置関係を理解し、図形の計量に応用する。 評価規準 ・円に内接する四角形の性質や接線の性質、方べきの定理を理解し、未知の角や長さを算出できる。【知】 ・既習の円周角の定理などを組み合わせ、複雑な図形関係を多面的に考察できる。【思】 ・円の性質の証明に意欲的に取り組み、授業ファイルに図や過程を整理して振り返っている。【主】	①小テスト ②プリント
	#02 単元テスト	1	○	○	○		①テスト ②レポート

場合の数	23. 集合の要素と用語の理解の理解 24. 部分集合・共通部分・和集合 25. 補集合 26. ベン図を用いた要素の個数の考察 27. 樹形図 28. 和の法則と積の法則 29. 順列① 30. 順列② 31. 円順列 32. 重複順列 33. 組合せ 34. 順列と組合せの関係性の考察 35. 同じものを含む順列と組合せ 36. 演習	14	○	○	○	<p>学習のねらい</p> <p>集合の要素の個数、順列・組合せの概念を理解し、適切に事象を数え上げる力を養う。</p> <p>評価規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集合、順列(P)、円順列、重複順列、組合せ(C)の公式を理解し、計算に活用できる。【知】 ・樹形図や和・積の法則を用い、重複や漏れがないよう適切な数え上げの方針を判断できる。【思】 ・順列と組合せの違いに関心を持ち、Googleフォームで自らの数え上げの誤りを客観的に分析・改善しようとしている。【主】 	①小テスト ②プリント
	#03 単元テスト	1	○	○	○		①テスト ②レポート
前期期末考査		1	○	○	○		①テスト ②レポート
確率	39. 確率の意味と事象の集合表示 40. 同様に確からしい事象と確率の計算 41. 積事象・和事象・排反事象 42. 確率の基本性質 43. 確率の加法定理 44. 余事象① 45. 余事象② 46. 独立な試行の確率 47. 反復試行の確率 48. 条件付き確率① 49. 条件付き確率② 50. 期待値 51. 演習① 52. 演習②	14	○	○	○	<p>学習のねらい</p> <p>確率の基本性質、独立な試行、反復試行、条件付き確率を理解し、不確実な事象を数理的に考察する。</p> <p>評価規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確率の加法定理・乗法公式、余事象の確率、期待値の計算方法を習得している。【知】 ・同様に確からしい事象に着目して確率を説明したり、期待値を意思決定の判断材料として活用したりできる。【思】 ・余事象を活用する利便性に気づき、具体的な試行(ゲーム等)を通じて確率に関心を持って取り組んでいる。【主】 	①小テスト ②プリント
	#04 単元テスト	1	○	○	○		①テスト ②レポート

数学と人間の活動	54. 約数の倍数の意味、具体的な活用 55. 自然数の素因数分解 56. 整数の割り算と余りの性質 57. 最大公約数と互いに素 58. ユークリッドの互除法 59. 互除法を用いた2数の最大公約数 60. 1次不定方程式の特殊解 61. 1次不定方程式の全ての整数解 62. 互除法の逆算による整数解の発見 63. N進法の整数から10進法への変換 64. 10進法の整数からn進法への変換 65. 平面から空間への座標の拡張 66. ゲームの中の数学 67. パズルの中の数学 68. ゲームの必勝法にかかわる数学的構造	15	○	○	○	<u>学習のねらい</u> 整数の性質（約数・倍数、ユークリッドの互除法、n進法）や座標、パズルの論理を学び、数学の広がりを認識する。 <u>評価規準</u> ・素因数分解、最大公約数、1次不定方程式、n進法の変換、座標空間の考え方を理解している。【知】 ・互除法の原理を逆にたどって解を見つけるなど、問題解決の過程を論理的に考察・表現できる。【思】 ・カレンダーやパズル、必勝法などの日常的话题を通じ、事象に数学の構造を見出そうとしている。【主】	①小テスト ②プリント
	#05 単元テスト	1	○	○	○		①テスト ②レポート
学年末考査	1	○	○	○		①テスト ②レポート	
合計	70						

令和8年度 教科年間計画

教科	数学	1年	使用	改訂版 最新 数学 A (数研出版)
科目	数学 A	2単位	教材	3ROUND 数学 I + A (数研出版)

【科目の目標】

図形の性質、場合の数と確率について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

【評価の観点】

評価の観点		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・ 技能	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、数学と人間の活動の関係について認識を深めている。	左側の求められる基準に達していない。
	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身に付けている。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だす力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だす力を身に付けている。	左側の求められる基準に達していない。
	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知:知識・技能 思:思考・判断・表現 主:主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
図形の性質	第1節: 三角形の性質 1. 三角形の内角・外角の二等分線と比 2. 内分点・外分点の座標と比の計算 3. 三角形の辺の日の演習 4. 三角形の外心 5. 三角形の内心 6. 三角形の重心 7. チェバの定理 8. メネラウスの定理 9. 演習	9	○	○	○	<u>学習のねらい</u> 角の二等分線、三角形の五心、チェバ・メネラウスの定理を理解し、計量や証明に活用する。 <u>評価基準</u> ・三角形の辺の比、外心・内心・重心の性質、各定理を用いて長さを求めることができる。 【知】 ・間接的な証明法を用いて図形の性質を論理的に説明できる。【思】 ・証明方法に関心を持ち、「3 ROUND」での演習を通じて粘り強く論理を組み立てようとしている。【主】	①小テスト ②プリント
	#01 単元テスト	1	○	○	○		①テスト ②レポート
	第2節: 円の性質 11. 円周角の定理とその逆 12. 円に内接する四角形の性質 13. 円周角を用いた角の大きさの考察 14. 円の接線の性質と辺の長さ 15. 接弦定理の理解と角の計算 16. 接弦定理の証明 17. 演習 18. 方べきの定理① 19. 方べきの定理② 20. 2つの円の位置関係 21. 中心間の距離と半径の関係の判定	11	○	○	○	<u>学習のねらい</u> 円周角、接弦定理、方べきの定理、2つの円の位置関係を理解し、図形の計量に応用する。 <u>評価規準</u> ・円に内接する四角形の性質や接線の性質、方べきの定理を理解し、未知の角や長さを算出できる。【知】 ・既習の円周角の定理などを組み合わせ、複雑な図形関係を多面的に考察できる。【思】 ・円の性質の証明に意欲的に取り組み、授業ファイルに図や過程を整理して振り返っている。【主】	①小テスト ②プリント
	#02 単元テスト	1	○	○	○		①テスト ②レポート

場合の数	23. 集合の要素と用語の理解の理解 24. 部分集合・共通部分・和集合 25. 補集合 26. ベン図を用いた要素の個数の考察 27. 樹形図 28. 和の法則と積の法則 29. 順列① 30. 順列② 31. 円順列 32. 重複順列 33. 組合せ 34. 順列と組合せの関係性の考察 35. 同じものを含む順列と組合せ 36. 演習	14	○	○	○	<p>学習のねらい</p> <p>集合の要素の個数、順列・組合せの概念を理解し、適切に事象を数え上げる力を養う。</p> <p>評価規準</p> <ul style="list-style-type: none"> 集合、順列(P)、円順列、重複順列、組合せ(C)の公式を理解し、計算に活用できる。【知】 樹形図や和・積の法則を用い、重複や漏れがないよう適切な数え上げの方針を判断できる。【思】 順列と組合せの違いに関心を持ち、Googleフォームで自らの数え上げの誤りを客観的に分析・改善しようとしている。【主】 	①小テスト ②プリント
	#03 単元テスト	1	○	○	○		①テスト ②レポート
前期期末考査		1	○	○	○		①テスト ②レポート
確率	39. 確率の意味と事象の集合表示 40. 同様に確からしい事象と確率の計算 41. 積事象・和事象・排反事象 42. 確率の基本性質 43. 確率の加法定理 44. 余事象① 45. 余事象② 46. 独立な試行の確率 47. 反復試行の確率 48. 条件付き確率① 49. 条件付き確率② 50. 期待値 51. 演習① 52. 演習②	14	○	○	○	<p>学習のねらい</p> <p>確率の基本性質、独立な試行、反復試行、条件付き確率を理解し、不確実な事象を数理的に考察する。</p> <p>評価規準</p> <ul style="list-style-type: none"> 確率の加法定理・乗法公式、余事象の確率、期待値の計算方法を習得している。【知】 同様に確からしい事象に着目して確率を説明したり、期待値を意思決定の判断材料として活用したりできる。【思】 余事象を活用する利便性に気づき、具体的な試行(ゲーム等)を通じて確率に関心を持って取り組んでいる。【主】 	①小テスト ②プリント
	#04 単元テスト	1	○	○	○		①テスト ②レポート

数学と人間の活動	54. 約数の倍数の意味、具体的な活用 55. 自然数の素因数分解 56. 整数の割り算と余りの性質 57. 最大公約数と互いに素 58. ユークリッドの互除法 59. 互除法を用いた2数の最大公約数 60. 1次不定方程式の特殊解 61. 1次不定方程式の全ての整数解 62. 互除法の逆算による整数解の発見 63. N進法の整数から10進法への変換 64. 10進法の整数からn進法への変換 65. 平面から空間への座標の拡張 66. ゲームの中の数学 67. パズルの中の数学 68. ゲームの必勝法にかかわる数学的構造	15	○	○	○	<u>学習のねらい</u> 整数の性質（約数・倍数、ユークリッドの互除法、n進法）や座標、パズルの論理を学び、数学の広がりを認識する。 <u>評価規準</u> ・素因数分解、最大公約数、1次不定方程式、n進法の変換、座標空間の考え方を理解している。【知】 ・互除法の原理を逆にたどって解を見つけるなど、問題解決の過程を論理的に考察・表現できる。【思】 ・カレンダーやパズル、必勝法などの日常的な話題を通じ、事象に数学の構造を見出そうとしている。【主】	①小テスト ②プリント
	#05 単元テスト	1	○	○	○		①テスト ②レポート
学年末考査	1	○	○	○		①テスト ②レポート	
合計	70						

令和8年度 教科年間計画

教科	地理歴史	1年	使用 教材	【教科書】地理総合 世界に学び地域へつなぐ（二宮書店）
科目	地理総合	2単位		【副教材】高等地図帳（二宮書店） 地理総合ワークブック（二宮書店）

科目の目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

【評価の観点】

評価の観点 (重点項目には○)		観点別学習状況の評価基準		
		A (十分満足できる)	B (おおむね満足できる)	C (努力を要する)
①知識・ 技能	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを十分に理解するとともに、地図やGISなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切に収集し、効果的にまとめる技能を身に付けているか。	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを十分に理解するとともに、地図やGISなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切に収集し、効果的にまとめる技能を身に付けている。	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図やGISなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けている。	左側の求められる基準に達していない。
②思考力 判断力 表現力	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを筋道を立てて説明したり、それらを基に議論したりする力を養っているか。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを筋道を立てて説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。	左側の求められる基準に達していない。
③主体的 に学習に 取り組む 態度	よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚を深められているか。	よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚を深められている。	よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚を深められている。	左側の求められる基準に達していない。

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
球面上の世界	位置の基準 時間の基準	2	○			地球上の位置情報の基礎として、緯度・経度の基本的なしくみ、地球上での位置の示し方を理解し、時差計算の技能を身につけているか。	単元テスト① プリント
日本の位置と領域	日本の位置	1		○		地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現できているか。	単元テスト① プリント ノート
	国家と領域 日本の領域 日本の領域に関する問題	2		○	○	現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現できているか。	単元テスト① プリント ノート
単元テスト①		1	○	○			
国家間の結びつき	国家間の結びつき	1		○		現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現できているか	単元テスト② プリント ノート
	交通・通信による結びつき 貿易・物流による結びつき 観光による結びつき	2		○		現代世界の地域構成について、交通・通信・貿易・観光などに着目して、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現できているか。	単元テスト② プリント ノート
単元テスト②		1	○	○			
地図とGIS	身の回りの地図	1	○			日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解できているか。	単元テスト③ プリント ノート
	地理院地図の活用 地図・GISのしくみと役割	2	○			現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けているか。	単元テスト③ プリント ノート
地形と生活文化	変動帯とプレート 河川がつくる地形と生活 海岸の地形と生活	3	○			人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解しているか。	単元テスト③ プリント ノート
単元テスト③		1	○	○			
気候と生活文化	大気循環 気候の地域性 ケッペンの気候区分	2	○		○	世界の生活文化や環境の多様性、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。	単元テスト④ プリント ノート

						課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，日本を含む世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする自覚を深められているか。	
	熱帯の自然環境 乾燥帯の自然環境 温帯の自然環境 亜寒帯・寒帯の自然環境	4	○	○		世界の生活文化や環境の多様性，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 地理に関わる事象の特色や相互の関連を，地域などに着目して考察したり，課題の解決に向けて構想したりする力や，説明したり，議論したりする力を養っているか。	単元テスト④ プリント ノート
単元テスト④		1	○	○			
産業と生活文化	農業の発展 工業の発展 商業・サービス業	3	○		○	世界の生活文化や環境の多様性，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，日本を含む世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする自覚を深められているか。	単元テスト⑤ プリント ノート
宗教・言語と生活文化	宗教の分布 言語の分布 移民と難民 生活文化の多様性	3	○		○	世界の生活文化や環境の多様性，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，日本を含む世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする自覚を深められているか。	単元テスト⑤ プリント ノート
単元テスト⑤		1	○	○			
前期期末考査		1	○	○	○	単元テスト①～⑤のまとめ	
1日防災学校		3	○		○	日本の自然環境と防災 風水害と防災 より	9月上旬

単元名	学習内容	時数	内容の評価の観点			学習のねらい及び評価規準	評価方法
			知	思	主		
各地域の生活文化と地理的環境	自然（南アジア、アフリカ、ロシア）	3	○	○	○	世界の生活文化や環境の多様性，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 地理に関わる事象の特色や相互の関連を，地域などに着目して考察したり，課題の解決に向けて構想したりする力や，説明したり，議論したりする力を養っているか。	単元テスト⑥ プリント ノート
	社会（ASEAN諸国、イスラーム圏）	2	○	○	○		単元テスト⑦ プリント

					課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本を含む世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする自覚を深められているか。	ノート	
	経済（東アジア、EU、アングロアメリカ）	3	○	○	○	単元テスト⑧ プリント ノート	
	開発（ラテンアメリカ、オセアニア）	2	○	○	○	単元テスト⑧ プリント ノート	
	単元テスト⑥	1	○	○		自然（南アジア、アフリカ、ロシア）	
	単元テスト⑦	1	○	○		社会（ASEAN諸国、イスラーム圏）	
	単元テスト⑧	1	○	○		経済（東アジア、EU、アングロアメリカ） 開発（ラテンアメリカ、オセアニア）	
地球環境問題	環境問題と持続可能な社会 国境を越える汚染 森林減少・砂漠化と対策 気候変動と対策	3	○	○		世界の生活文化や環境の多様性、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 地理に関わる事象の特色や相互の関連を、地域などに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	単元テスト⑨ プリント ノート
資源・エネルギー問題	鉱物・エネルギー資源 リサイクルと再生可能エネルギー	2	○		○	世界の生活文化や環境の多様性、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本を含む世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする自覚を深められているか。	単元テスト⑨ プリント ノート
	単元テスト⑨	1	○	○			
人口・食料問題	人口と人口問題 世界各地の人口問題 2つの食糧問題 食料問題の背景と解決策	3			○	地理に関わる事象の特色や相互の関連を、地域などに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。 課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本を含む世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする自覚を深められているか。	単元テスト⑩ プリント ノート
居住・都市問題	発達する都市 都市への人口集中 居住・都市問題	3			○	地理に関わる事象の特色や相互の関連を、地域などに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。	単元テスト⑩ プリント ノート

					課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，日本を含む世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする自覚を深められているか。	
日本の自然環境と防災	世界地図でとらえる自然災害のリスク	1	○	○	世界の生活文化や環境の多様性，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，日本を含む世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする自覚を深められているか。	単元テスト⑩ プリント ノート
単元テスト⑩		1	○	○		
	日本の地形の特色 日本の気候の特色	2	○	○	世界の生活文化や環境の多様性，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，日本を含む世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする自覚を深められているか。	単元テスト⑪ プリント ノート
	風水害と防災 火山噴火と防災 地震・津波と防災 都市型災害と防災 防災への心構え	3	○	○	世界の生活文化や環境の多様性，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 地理に関わる事象の特色や相互の関連を，地域などに着目して考察したり，課題の解決に向けて構想したりする力や，説明したり，議論したりする力を養っているか。	単元テスト⑪ プリント ノート
生活圏の諸課題	主題図からみた日本の特徴と課題	1	○	○	世界の生活文化や環境の多様性，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，諸資料から地理に関する様々な情報を調べまとめる技能を身に付けているか。 地理に関わる事象の特色や相互の関連を，地域などに着目して考察したり，課題の解決に向けて構想したりする力や，説明したり，議論したりする力を養っているか。	単元テスト⑪ プリント ノート
単元テスト⑪		1	○	○		
学年末考査		1	○	○	○	単元テスト⑥～⑩のまとめ
時数合計		70				